病児保育室

令和８年度　第８号

ふらっと・クローバーだより

朝晩の冷え込みが増し、少しずつ冬の訪れを感じる季節になりました。空気が乾燥し、風邪や感染症にも注意が必要な時期です。寒くなってくると、「いつもより元気がない」「熱が出てきたけれど、どのように過ごしたらよいのだろう」と不安に感じることもあるかと思います。お子さんが体調を崩した時は、安心して休める環境を整えてあげることが大切です。今月は、そんなときに役に立つ「おうちでできる看病のコツ」をご紹介します。

おうちでできる看病のコツ

発熱があるときのお風呂は？

発熱時は、体力を消耗するので無理にお風呂に入れる必要はありません。汗をかいたときは、温かいタオルで体を拭いて、さっぱり清潔にしてあげましょう。
体調が回復してきたら、無理のない範囲で入浴しましょう。

咳がひどく夜眠れない時は？

横になると鼻水や痰がのどに流れて咳が出やすくなります。枕などで頭の位置を高くして寝かせたり、鼻水を吸ってあげたりすると楽になります。

病児保育室では・・・

発熱があっても元気に遊びたい気持ちのお子さんもいますが、そんな時もできるだけゆったりと過ごせるように工夫しています。座って遊べるおもちゃや、ぬり絵、簡単な製作などを取り入れ、落ち着いて楽しめる時間を大切にしています。
また、「お茶を飲もうね」とこまめに声をかけたり、普段お昼寝をしていないお子さんにも、布団で横になって体を休められる時間を作ったりしています。

解熱剤を使うタイミングは？

食事・水分が摂れ、遊ぶ元気がある時はすぐに解熱剤を使用する必要はありません。
高熱（38.5℃～）により、元気や食欲がなく、眠れない場合は解熱剤を使用し、苦痛を和らげてあげましょう。
※次の使用までは、6～8時間あけ、一日2、3回までにしましょう。

よくある質問

Q. 給食はありますか？

A. 原則として、お子さんの症状や体調に合わせた昼食・おやつをご持参ください。昼食をご希望の場合は、昼食・おやつ2回分で500円必要です（レトルト食品・冷凍食品等のご提供）。なお、胃腸系の病気やアレルギー対応はしていません。

保育の様子



ハサミを使って自分で星を切ったり、おばけのお顔を描いたりして、季節の製作を楽しみました。

職員紹介

看護師　藤原です。よろしくお願いします。持参いただく病児保育記録を基にし、保育士と連携して観察、保育看護させていただきます。保護者の方が安心して仕事に向かい、お子さんが落ち着いて過ごせるよう、大切にお預かりします。ご家庭での看病上の不安などもご相談ください。

病児保育室
ふらっと・クローバー
TEL:079-553-8006
〈受付時間〉平日 9:00～17:00

HP

利用登録（テオテ）